

ご挨拶

もうすぐ春だというのに、まだまだ寒い日が続きますが皆様風邪などひいていませんか？昨年8月にFハウスを退社し、独立開業しまして早半年が過ぎました。業務内容としては何も変わらないのですが、今まで事務さんをお願いしていた発注処理、経理課がやっていた業者さんへの支払いなどなど、すべてをこなさなければいけません。その分の仕事量は増えましたが、仕事は楽しく毎日充実しています。

さて、今回皆様には定期的にニュースレターを送らせて頂きたいと思います。これは、現在工事中のお客様はもちろん、以前お世話になりましたお客様に少しでも自分のことを知ってもらい、コミュニケーションがとればいいなあという思いから始めるものです。三日坊主にならないよう続けていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



ビーチグラスのはなし



皆さん、ビーチグラスってご存知ですか？捨てられたガラス瓶などが波に洗われて割れ、角がとれて破片になったものです。元はといえばゴミなのにこれがなかなかキレイでかわいいんです。台風など南風が強く吹いた翌朝、目の前のビーチを散歩すると、それまでは無かった巨大な流木やいろいろな漂流物が流れ着いています。

そんな強風の吹いたあとの休みの日には、スーパーのビニール袋を片手に、子供たちと一緒にビーチでお宝探しです。探すときのポイントは、波打ち際を満潮時のラインに沿って波と平行に歩くことです。去年なんかは、その波打ち際に身長10センチにも満たない子がめがひっくり返って足をバタバタしているのを子供がみつけて、海に帰してあげたなんてこともありました。そんなこんなで小一時間くらい3人で探していると上の写真くらい見つかります。(すみません、ウソです。これは記事用に増やしました。実際はこの半分くらいかも、、、)ここで大人の方が探すときの注意事項をひとつ。探しはじめて徐々にヒートアップしてくると顔がだんだん地面に近づいてきます。気が付くと四つん這いになってはいはいしていることも。そう、**腰にきます**。ですので長時間は控えましょう。

と、ここまでお話ししてきましたビーチグラスですが、実はこのビーチグラス、な、なんと**絶滅危惧種**なんです。そもそもこのビーチグラスはその形状からほとんどがガラス瓶だと考えられます。しかしながら昨今、飲料水等の容器はその殆どがペットボトルに変わり、海への新

たな材料の供給が大きく減少しています。(そもそもゴミを捨てる事はよくありません)私たちはビーチグラスを拾い、楽しみつつも環境問題に向き合っていきたいですね。な～んてね。



拾ってきたビーチグラスは水洗いして天日干し。そのあと色別に空き瓶に入れて保管。白や茶はたくさん取れますがブルー、グリーンは希少です。



ビーチグラスアート(自分作)
下絵を描いてその上にガラス板を置きます。その上にビーチグラスを並べていき絵が完成したら木工用ボンドで接着していきます。乾くと透明になるのではみ出してもOK。周りもヘラ等でボンドを均一に塗り、白い砂をふりかけます。乾いたら余分な砂を落として出来上がり。波の形を模ってみました。スタンドグラスみたいでキレイでしょ。

お花見のすすめ

奈良時代以前、桜は観賞用というよりはその年の農作物の出来をよう花でした。だから「早く散れば凶兆」という事で散るのを惜しんだ、と言われていました。

奈良時代～平安時代にかけて、貴族たちの間で「行われた花を見ながら歌を詠む会」が「お花見」の起源とされているそうです。なんだか優雅ですね～。そして江戸時代になると春の行楽としてお花見が庶民の間にも広がり、お弁当を食べたり、お酒を飲んだりと現在のようスタイルになったという事です。お花見はいにしえから続く春のレジャー。手軽なお弁当を持って、出かけてみてはいかが？ 次のコーナーではうちの嫁によるお花見レシピです。

Bells kitchen presented by maiko

カリフォルニアロール point

- 海苔の上にご飯を薄めに広げる
- 具材の部分を巻いたところでしっかり具材を固定するようにグッと押さえる

材料

アボカド、カニかま、キュウリ卵焼き、マヨネーズ、ご飯、海苔



ご飯を酢飯にする、となると途端にハードルが上がってしまう気がするので、ここは思い切って普通のご飯でいきましょう！

マヨネーズも一緒に巻くので物足りないという事はないですよ。

今回はこんな感じで作りましたが、具材は何でもOK。

茹でた青菜、ツナ、チーズなんてのも良さそうですね。お試しあれ。

スタッフ紹介

はじめまして。スタッフの麻衣子と申します。はい、その通り、妻です。今回ニュースレターを発行するにあたって無口な夫の穴を埋めるべく(原稿の穴??)身近な出来事など紹介できたら、と思います。どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

ベルズレター創刊号いかがだったでしょうか？文章(作文?)を書くという作業自体、学生以来という事もあり、大変新鮮で楽しんで書くことができました。毎号、お得情報誌「リフォーム便り」と合わせて皆さんにお届けしたいと思います。今回は5月発行を予定していますのでどうぞ、お楽しみに！